

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	南海トラフの巨大地震及び首都直下地震に関する応急対策活動の具体計画策定等検討経費（民間船舶を活用した医療機能の実証訓練経費）			担当部局庁	政策統括官(防災担当)	作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(災害緊急事態対処担当)	島田 勝則	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	中央防災会議決定「令和4年度総合防災訓練大綱」 中央防災会議幹事会決定「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」 中央防災会議幹事会決定「首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画」		
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	南海トラフ巨大地震及び首都直下地震に対する災害応急対策活動の具体的な計画を策定すること等により、発災時に、国のみならず地方公共団体も含めた関係機関が相互に連携し、的確かつ迅速に災害応急対策を行うことを目指すもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○南海トラフ地震及び首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画に定めた内容の検証を行い、必要な改定を行う。 ○令和2年度の病院船の活用に関する検討等を踏まえ、関係省庁と協力し、自衛隊艦艇を活用した本格的な訓練等を実施し、大規模災害時における船舶の活用方法の検討を行う。 (令和3年度は新型コロナウイルスの拡大により実動訓練中止)						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	70.3	82.6	83.4	75.1	25.7
		補正予算	-	71	50	-	
		前年度から繰越し	-	39.8	-	50	-
		翌年度へ繰越し	▲39.8	-	▲50	-	
		予備費等	-	-	-	-	
		計	30.5	193.4	83.4	125.1	25.7
	執行額		19.2	126.3	47.5		
	執行率(%)		63%	65%	57%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		27%	82%	36%		
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
	災害関係調査費		75.1	25.7	減理由:大規模災害等における船舶の活用方法の検討に係る経費については、令和4年7月に内閣官房に業務移管		
	計		75.1	25.7	重要政策推進枠:6		

		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	大規模災害時には、膨大な数の負傷者の発生等により医療ニーズが増大することが想定される。このため、災害時の医療機能等の拡充、陸上の医療施設を補完する方策の一つとして、民間船舶や政府艦船などの既存船舶を活用した医療活動の実証訓練を、関係省庁及び医療機関等と連携して実施してきたところである。 本事業は実証訓練を積み重ねていくことで、船舶を活用した医療提供の活用方策を検討のうえ改善する事を目的としている。したがって、このような事業の性格に鑑み、期間設定の上で定量的な目標を設定する類の事業ではなく、継続的実施が必要な事業であることから定量的指標の設定は困難である。			大規模災害時に、船舶を活用した海からのアプローチによる医療機能の提供について、関係省庁及び医療機関等と連携して実証訓練を行うことにより意義・課題を明らかにし、これを解決する。					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		大規模災害時に、船舶を活用した海からのアプローチによる医療機能の提供について、実証訓練を行うことにより意義・課題を明らかにし、これを解決する。	課題のうち、翌年度の訓練実施において解決を図った課題の割合	実績	%	100	100	-	-	-
				目標値	%	100	100	100	-	100
達成度	%			100	100	-	-	-		
活動内容 (アクティビティ)	大規模災害時に、船舶を活用した海からのアプローチによる医療機能の提供について、実証訓練を行うことにより意義・課題を明らかにし、これを解決する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	船舶を活用した実証訓練の実施	船舶を活用した実証訓練の実施回数	活動実績	回	0	1	0	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	訓練等実証経費 / 訓練等回数			単位当たりコスト	百万円	-	39.8	-	103.1	
				計算式	/	-	39.8/1	-	103.1/2	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	10.防災政策の推進								
	施策	⑤防災行政の総合的推進			政策評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r1hyouka/r1jigo/r1jigo-10.pdf				
					該当箇所	P6、P7				
	取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
該当箇所										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	発災時に的確かつ迅速に災害応急対策を行うことを目指すものであり、社会のニーズに沿っている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	発災時に、国と地方公共団体も含めた関係機関が相互に連携し、的確かつ迅速に災害応急対策を行うための事業であり、国が主導すべきである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	切迫する大規模・広域災害に備え、災害時の医療機能の拡充と多様化を図る可能性について検討するもので、海からのアプローチという、これまで十分に検討が行われてこなかった新たな手法について、多岐にわたる関係者とともに取り組む本事業は、優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	契約先の選定にあたっては、一般競争入札を原則としており、競争性に問題性はない。結果的に一者応札になってしまったが、引き続きわかりやすい仕様内容や、入札期間などに配慮し、改善を図る。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	入札により予定価格以内での落札となっており、コスト水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	調査や訓練実施に必要な雑役務費に限定して執行している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に見合った進捗が図られている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	自衛隊艦艇を活用した実動訓練を予定していたが、実施直前に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	図上訓練の検証結果や策定された具体計画により、国や地方公共団体の災害発生時の応急対策に活用される見込み。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震や首都直下地震など大規模災害に備え、行政機関や民間企業、医療機関等の多岐にわたる関係者とともに取り組む本事業は、真に国が実施する必要性が高い事業である。 ・事業執行においては、一般競争入札において受託者を選定した。 ・事業実施にあたっては、適宜、受託事業者の報告を求め、業務の方向性を確認した。 	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、あらかじめ設定した活動目標をほぼ毎年度達成しており、新たに発生した課題についても機動的に検討を行うなど、十分にその成果を挙げてきているところ。 ・引き続き、受託者との意思疎通を十分に図り、訓練成果や調査結果の質の向上に努めるとともに、予算執行においては競争性を確保した契約を行い、効率的な予算執行に取り組む。 	
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努め、一者応札については、要因をよく分析の上、改善策を講じること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	引き続き、事業の制度内容について適切かつ的確に検証し、予算の効果的かつ効率的な執行に努める。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	0048			
平成26年度	0046			
平成27年度	0051			
平成28年度	0045			
平成29年度	0045			
平成30年度	0046			
令和元年度	内閣府 - 0053			
令和2年度	内閣府 0052			
令和3年度	2021 府 20 0064			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



